

梅窓院通信

No. 73
2014/10/01

青山

住職挨拶

梅窓院第二十五世 中島 真成

早いもので、今年もあと三か月となり、年末年始の準備を考え始め出す時期となりました。

今号は不思議なご縁の話を紹介します。去る八月二十五日から九月三日まで、傳通院、梅窓院、祐天寺の三か寺合同団体参拝でスイスへ行った時の話です。

名峰モンブランに登った、といってもロープウェイですが、その日の午後、ジュネーブで金融機関を訪れた時のことです。スイスの金融機関が世界から信用される理由を話して頂いたエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントのさんがなんと、梅窓院のお檀家様の娘さんの旦那さんで、平成十一年に梅窓院での親戚の葬儀に出席をされていた方だったのです。

今回の訪問者リストの中に梅窓院の名前を見つけ、義理の両親の菩提寺だからと梅窓院のホームページを開かれたそうです。さんが列席された葬儀や法要は以前の建物の頃でしたから、ホームページを見てびっくりされたそうです。今回はその時の記念写真を掲載します。

しかしまさかスイスでご縁のある方とお会いするとは、参加者の皆さんに「お顔が広いですね」と言われ、少々照れながらも得意顔にもなりました(笑)。

このご縁のあと、プロテスタントの教会を訪れました。どの教会も今まで見たことのないシンプルな様式で、勤勉で無駄使いをしないスイス人の気質と相通じるようで、宗教改革があらゆる面でスイスに大きな影響を与えたとのことでした。

さて、梅窓院の行事の話です。十月二十六日の文化講演会は「寺の力」と題して建築家の隈研吾さんに講演して頂きました。「寺の力」は隈さんから頂いた演題で、梅窓院のお檀家様でもある隈さんがどんな話をされるのか興味をそそられます。みなさんも是非ご参加下さい。

十一月二十二日にはマルティン・ファン・デン・ブックさんのピアノリサイタルです。今回のテーマは「蝶のように」です。詳しくは本号の裏面をご覧ください。



右から中島住職、

さん。

十夜法要

十二月十五日(土)

十夜法要

午後四時～

本堂

法話

法要終了後～

本堂

講師 津村 祥徳上人

法話終了後、十夜法要にご参列頂いた方に芋煮のふるまいをさせて頂きます。なお、芋煮会だけのご参加はご遠慮頂いております。



昨年の十夜法要で法話をされた成田憲信上人。



平成25年度、十夜法要の様子。

十夜によせて

暑さが過ぎ、秋めいてきた風を感じられるようになって参りましたこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

十月が近づいて参りますと、昨年の伊豆大島での台風二十六号による土砂災害が記憶に新しい方も多くおられると思いますが、今年は広島での大規模土砂災害がございました。東日本大震災以降から昨今の異常気象。誰もが感ずるところではあると思いますが、やはり天地自然というものは、時に優しく、時に無慈悲で、「ままならない」ものでございます。

十月から十一月のこの時節、全国の浄土宗寺院では、「十夜法要」が行われます。ところによつては、「お十夜」「十夜念仏」「十夜講」ともいいますが、正式名称は、「十日十夜法要」といいます。浄土經典の一つ、『無量寿經』の巻下に、「この世において十日十夜の間善行を行うことは、仏の国で千年間善行をすることよりも尊い」と説かれている教えを実践したもので、十日十夜にわたり不断念仏を称え、阿弥陀さまのお慈悲に感謝する法要でございます。

昨今では、様々な事情により一日のうちに集約させてお勤めさせて頂いておりますが、このように特別に日を定めて行う念仏を、「別時念仏」とも申します。つまり「十夜法要」は、「十日十夜の別時念仏会」のことで、「別時念仏」とは、平生では猿猴が枝をつたうが如き惑う心一つにし、ただ一向に念仏することでございます。数を定めず多く称えるその一つ一つのお念仏の中に、阿弥陀さまへの報恩感謝、大災害、異常気象で被害に遭われた方々の速やかなる安寧と、私たちも諸共にと、心からの極楽往生を願います。ご法要の際には是非ご一緒に心一つにお念仏をお称え下さいますよう、お願い申し上げます。

(法務部)

十夜回向に関するお知らせ

十夜法要では「塔婆」と「短冊」のご回向が選べます。それぞれ申込方法・冥加料が異なりますのでご注意ください。また、ご回向は「〇〇家先祖代々」のみとさせて頂きますのでご了承下さい。

塔婆回向 一霊 七千円
短冊回向 一霊 三千円

●お申込方法

塔婆 同封葉書にご記入の上、**11月10日必着**でお申込下さい。

短冊 同封の「書き方例」をご参照下さい。

●お支払方法

同封の振込用紙で郵便局にてお支払頂くか、梅窓院受付までお持ち下さい。**銀行・コンビニでのお支払はできません。**ご不明な点は梅窓院受付までお問い合わせ下さい。

高田なみ特別ライブ

今年も高田なみさんの特別ライブを
法話終了後、観音堂にて開催します!



プロフィール
透明感溢れる歌声のシンガーソングライター。地元富山でヴァイオリンとのユニットSora(ソラ)を結成してすぐにTVドラマの主題歌に抜擢され、北陸各地のイベントにも多数参加。2003年に日本コロムビアからメジャーデビュー、2007年にソロデビュー。同年発売したJ-POPのボサノバカバーアルバムが好評にて、以降都内のライブ・イベントにも多数出演。2013年にはオリジナル曲のフルアルバムを発売し、ジャズや有名曲のアレンジ・カバーと共にその心地よい歌声と響きに注目が集まっている。

行事予定

文化講演会

10月26日(日)
 開場 午後4時15分 祖師堂
 開演 午後5時～
 【講師】隈研吾氏
 入場料無料／先着300名
 ※詳しくは前号同封のチラシをご覧ください。

十夜法要

11月15日(土)
 法要／法話／特別ライブ／芋煮会
 法要開始 午後4時～



M・ファン・デン・ブックビアリサイタル

11月22日(土)
 開場 午後2時15分
 開演 午後3時～ 祖師堂
 冥加料 檀信徒 2,000円
 一般 5,000円
 学生 4,000円
 先着 300名 お申込受付中!!
 【お問合せ】青山文化村
 03(3404)8588
 今年は「蝶のように」と題しての演奏です。
 ※曲目など詳しくは前号同封のチラシをご覧ください。



発行／梅窓院
 発行日／平成26年10月1日
 発行人／中島 真成
 編集／青山文化村
 住所／〒107-0062
 東京都港区南青山2-26-38
 電話／03-3404-8447
 F A X／03-3404-8436
 ホームページ／<http://www.baisouin.or.jp/>
 E-Mail／jodo@baisouin.or.jp
 題字／中村康隆元浄土門主
 総本山知恩院第八十六世門跡

梅窓院のお墓とペット供養の窓口

日本エキスパートシステム

墓苑事業部からのお知らせ



ペット供養塔「無礙光塔」が山門横に建ちました。



彼岸でのペット法要は尼僧さんにご供養頂きます。

青山梅窓院墓苑総販売代理店の日本エキスパートシステムです。当社は梅窓院にお墓をお求めになる方へのお申込みのお手続きや墓石建立までのお手伝いを専属で引き受けております。すでにお墓をお持ちの方には墓石の補修やお手入れのご相談なども承っております。昨年11月からはペット供養塔「無礙光塔」の運営も始めました。この秋のお彼岸には動物慰霊法要を開催致しました。皆様のご希望にできるだけお応えできるよう努力しております。ところで8月にフジテレビで放映された「カスベ」をご覧になった方も多いのではないのでしょうか？ お檀家様からもたくさんのお問い合わせ、ご紹介を頂きました。都心のお墓としての当墓苑をぜひご親戚、知人の方にご紹介下さい。皆様からのご意見もお待ち致しております。

平成26年 第62回念仏と法話の会にて

「法話に癒されました」

都会の人たちは、早口でせっかちな印象を受けますが、津村上人の優しく穏やかな話し方は時間がゆっくりと過ぎていくのを感じることができ、とても癒されました。お蕎麦も和氣諳々とした雰囲気のおかげで、美味しく頂くことができました。梅窓院に足を運ぶ際には自宅のある世田谷から歩いて1時間半かかりますが、お寺に行くのに気持ちを清めるためにも必ず歩いていくようにしています。

平成26年 開山忌法要にて

「日本芸能の素晴らしさを堪能」

いつもご先祖様にご報告という気持ちでお参りしており、年間の行事は檀家・檀信徒としての生活の一部と思います。開山忌法要は梅窓院を創建したご僧侶への大事な法要と伺っていますので、もっと前から始めて頂けていればと思えました。能楽では日本芸能の素晴らしさ、今日の日頃の生活にない立ち振る舞いや、足の指先までの動きに心ゆかしい一時を過ごすことができました。鼓の響きも堪能することができました。

お檀家さんに伺いました

活動報告

郡上市中学生体験学習

8月6日(水)

郡上市・港区の交流事業の一環として今年も郡上市の中学生の皆さんが梅窓院を訪れ、僧侶の話を聞いたあと青山家のお墓参りをされました。

